

令和2年度 補助事業要望調査票(貸切バス関係)

令和2年度の車両・機器等導入にかかる補助事業について、各事業者の皆さまのご要望を調査します。

毎年度、早期の内示、交付決定を希望するご意見を多数いただくため、今回調査時期を前倒すこととしました。よって、現時点(令和元年度)の補助金交付要綱、実施要領、運用方針に基づき、調査を実施します。補助金交付要綱等が正式に策定された際、ご要望に沿わない結果になることもあり得ます。さらに、当省の進める政策の主旨をご理解の上、積極的に取り組まれる事業者を優先的に支援させていただきたいと考えています。その点ご了承の上、ご回答ください。

ご要望は、各地方運輸局運輸支局の管轄区域毎に調査票にまとめ、当該運輸支局の輸送担当あてに提出してください。

会社名

ご担当者名

(TEL)

ご連絡先 (FAX)

(E-mail アドレス)

1. 令和元年度の要望台数及び要望額について

① リフト付きバス等の導入について

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額	導入予定時期
K-1	リフト付きバスの導入	台	万円	(通常車両との差額/2) 万円	令和 年 月 日
K-2	エレベーター(EV)付きバスの導入	台	万円	(通常車両との差額/2) 万円	令和 年 月 日

「補助対象経費」には補助対象車両価格(オプション抜き)+車載機器価格×台数、又は改造費+車載機器価格×台数を記載してください。

○補助対象経費(1台あたり)について

- ・リフト付きバス 通常車両価格()万円 補助対象車両価格()万円
・EV付きバス 通常車両価格()万円 補助対象車両価格()万円

※1 リフト付きバス等(K-1,2)の導入については、導入・改造に要する経費のうちオプションを除く車両本体価格及び車載器類の価格、改造費が補助対象になります。

※2 補助対象となる車載機器類は以下の通りです。

- a. ノンステップバス標準仕様装備に準ずる装備(リフト付きバス等(K-1,2)に設置可能なもの) b. アイドリングストップ、オートマチック装置
c. ABS装置 d. 車椅子固定装置、床の滑止め加工
e. 上記aからdまでに掲げるものの他、バリアフリー化に資する車載機器類であって、大臣が認めるもの

※3 複数台を要望され、1台あたりの通常車両価格、補助対象車両価格にバラつきがある場合は、内訳のわかる資料を添付してください。

※4 貸切の場合、観光用途のみが対象となるため、車両の導入と共に、多言語化、無料公衆無線LAN環境の整備又はキャッシュレス対応のいずれかを行う必要があります。

○車両の導入状況(以下に数値を記載してください。)

- ・バス車両の総保有台数(A) ()台 ・リフト付バス車両の総保有台数(B) ()台 (B/A %)
・EV付バス等車両の総保有台数(C) ()台 (C/A %)

○車両の導入と共に行う対応

- 多言語化 (概要:)
 無料公衆無線LAN環境の整備 (概要:)
 キャッシュレス対応 (概要:)

② その他訪日外国人旅行者が移動を楽しむ目的で導入するバス

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額	導入予定時期
K-3	サイクルバスの導入	台	万円	(要望台数×140万円) 万円	令和 年 月 日
K-4	水陸両用バスの導入	台	万円	(要望台数×140万円) 万円	令和 年 月 日
K-5	オープントップバスの導入	台	万円	(要望台数×140万円) 万円	令和 年 月 日
K-6	レストランバスの導入	台	万円	(要望台数×140万円) 万円	令和 年 月 日
K-7	上記以外のバスの導入	台	万円	(要望台数×140万円) 万円	令和 年 月 日

(前ページからの続き)

「上記以外のバス」の内容を具体的に、複数の種類がある場合は、内訳も記載してください。

※1 サイクルバスの導入(K-3)については、自転車を解体せずに乗車することができ、利用者への対応が多言語で対応している車両の導入・改造等に要する経費及び旅客施設において自転車を移動させるためのスロープの設置等に要する経費(設計費、販促物作成費用、多言語のウェブサイト製作費用及び翻訳費用を含む)を補助対象とします。

※2 水陸両用バス等の導入(K-4~7)の補助対象は、利用者への対応が多言語で対応している車両に限ります。

※3 水陸両用バス等の導入(K-4~7)については、利用者への対応が多言語で対応している車両の導入・改造等に要する経費(設計費、販促物作成費用、多言語のウェブサイト製作費用及び翻訳費用を含む。)を補助対象とします。

※4 車種、価格のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

2 貴社の取組みについて

以下は、予算配布の優先順位を検討する際に参考にさせていただくため設けた設問です。積極的にご回答ください。

・インバウンド 関係

・外国語対応ドライバーの雇用数 ()人 ・外国語対応ドライバーの雇用予定数 ()人

・対応可能言語(ホームページ)

※対応している多言語すべてにチェック☑をしてください。

<input type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> 韓国語	<input type="checkbox"/> 中国語	<input type="checkbox"/> ロシア語
<input type="checkbox"/> スペイン語	<input type="checkbox"/> ポルトガル語	<input type="checkbox"/> その他	_____

・対応可能言語(予約等案内)

※対応している多言語すべてにチェック☑をしてください。

<input type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> 韓国語	<input type="checkbox"/> 中国語	<input type="checkbox"/> ロシア語
<input type="checkbox"/> スペイン語	<input type="checkbox"/> ポルトガル語	<input type="checkbox"/> その他	_____

・対応可能言語(バス車内でのコミュニケーション)

※対応している多言語すべてにチェック☑をしてください。

<input type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> 韓国語	<input type="checkbox"/> 中国語	<input type="checkbox"/> ロシア語
<input type="checkbox"/> スペイン語	<input type="checkbox"/> ポルトガル語	<input type="checkbox"/> その他	_____

・外国語接遇研修実施回数(平成30年度実績) ()回実施

・多言語案内用タブレットの導入数(平成30年度末時点) ()台

・多言語対応状況(バス車内)

英語	(対応割合()台中()台で対応可	対応率()%
中国語	(対応割合()台中()台で対応可	対応率()%
韓国語	(対応割合()台中()台で対応可	対応率()%

・無料公衆無線LAN導入状況 (導入割合()台中()台に導入済み 導入率()%)

・安全確保関係

貸切バス事業者安全性評価認定制度の認定取得状況 取得済み 取得予定 取得予定なし